



横浜美術館発！シンガポール美術館との交換展

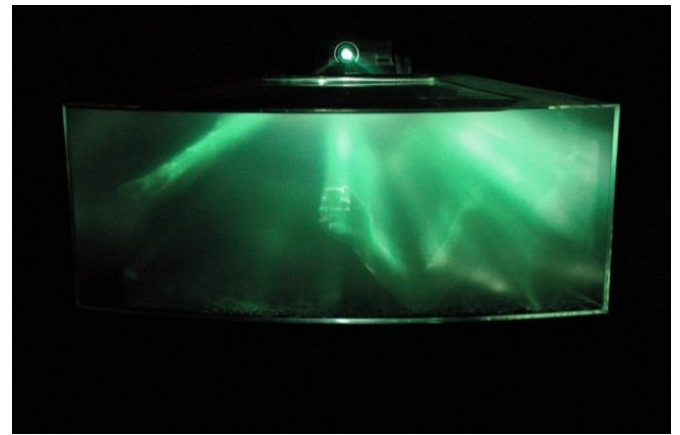
横浜美術館のコレクションによる展覧会をシンガポールで開催

“Image and Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art” 「イメージとイリュージョン：横浜美術館所蔵 ビデオ・インスタレーション作品」

2014 年 10 月 3 日（金）— 2015 年 2 月 8 日（日）



シンガポール美術館分館 (SAM at 8Q)



高嶺格《水位と体内音》2004 年、横浜美術館

この度、横浜美術館が所蔵するビデオ・インスタレーション作品の展覧会“Image and Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art”（「イメージとイリュージョン：横浜美術館所蔵 ビデオ・インスタレーション作品」展）が、シンガポール美術館との共催により 2014 年 10 月 3 日（金）から 2015 年 2 月 8 日（日）まで、シンガポール美術館分館（SAM at 8Q）にて開催されることとなりました。本展は、2013 年春に開催したシンガポール美術館所蔵作品による展覧会「Welcome to the Jungle 熱々！東南アジアの現代美術」展との「交換企画」として実現するものです。今回は、横浜美術館のコレクションを「ひとつの展覧会」として海外で展示する初の試みとなります。

横浜美術館は「世界に開かれた美術館」を目指し、国際都市・横浜ならではの美術分野における国際間ネットワークの構築に取り組んできました。2011 年からは現代美術の国際展「横浜トリエンナーレ」の主会場として、拠点の役割を担い、アジア諸国との交流にも力を注いでいます。

※詳細は添付の資料をご覧ください。

“Image and Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art”

「イメージとイリュージョン：横浜美術館所蔵 ビデオ・インスタレーション作品」

会期：2014 年 10 月 3 日（金）～2015 年 2 月 8 日（日）

会場：シンガポール美術館分館（SAM at 8Q）

共催：シンガポール美術館（Singapore Art Museum）、横浜美術館

※この機会に本展を、広くご報道いただければ幸いです。

お問い合わせ先 *本日は 17 時まで在席しております。

横浜美術館 (横浜市芸術文化振興財団)

経営管理グループ グループ長

操 和憲

Tel 045-221-0307

経営管理グループ 広報・渉外チーム 広報担当 宮野、藤井、窪田

Tel 045-221-0319

2014年9月30日

シンガポール美術館にて、横浜美術館のコレクションで構成される展覧会が開催

“Image and Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art”

「イメージとイリュージョン：横浜美術館所蔵 ビデオ・インスタレーション作品」展

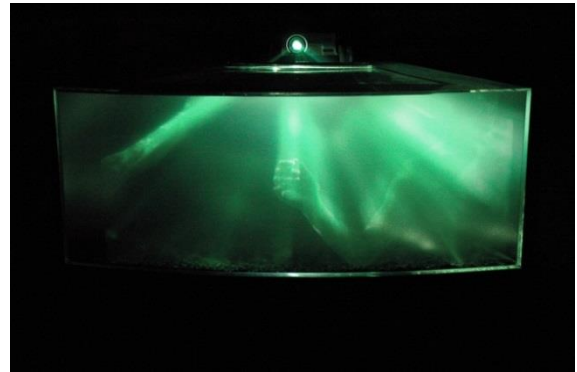
2014年10月3日（金）～ 2015年2月8日（日）

会場：シンガポール美術館分館（SAM at 8Q）

共催：シンガポール美術館（Singapore Art Museum）、横浜美術館



シンガポール美術館分館（SAM at 8Q）



高嶺格《水位と体内音》2004年、横浜美術館

この度、横浜美術館が所蔵するビデオ・インスタレーション作品の展覧会 “Image and Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art”（「イメージとイリュージョン：横浜美術館所蔵 ビデオ・インスタレーション作品展」展）が、シンガポール美術館との共催により2014年10月3日（金）から2015年2月8日（日）まで、シンガポール美術館分館（SAM at 8Q）にて開催されることとなりました。

シンガポール美術館との交換展

横浜美術館は「世界に開かれた美術館」を目指し、国際都市・横浜ならではの美術分野における国際間ネットワークの構築に取り組んできました。

2011年からは現代美術の国際展「横浜トリエンナーレ」の主会場として、拠点の役割を担い、アジア諸国との交流にも力を注いでいます。

本展は、横浜美術館とシンガポール美術館との交流の成果である「交換企画」として実現するものです。2013年の春に、横浜美術館では、シンガポール美術館の所蔵作品による展覧会「Welcome to the Jungle 熱々！東南アジアの現代美術」展（2013年4月13日～6月16日）を開催しました。今回は、横浜美術館のコレクションを「ひとつの展覧会」として海外で展示する初の試みとなります。

新しい試みの第一歩として

シンガポール美術館は、「シンガポールビエンナーレ」を開催し、こうした国際展を開催するという点で、横浜美術館とは類似点を持つ美術館です。横浜トリエンナーレにおける連携や、展覧会を基軸とした交流は、両館のパートナーシップを築くと同時に、横浜美術館の国際発信の試みの第一歩となりました。映像の街・横浜からシンガポールへ、両都市の文化的な交流が一段と深まることを期待しています。

【展覧会について】

“Image and Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art” 展は、シンガポール美術館分館にて、10月3日より開催される写真とニューメディアを合わせた総合展示プログラム“Still Moving: A Triple Bill On The Image”（スティル・ムーヴィング：イメージをめぐる3つの覚書）のひとつとして開催されます。

“Still Moving: A Triple Bill On The Image” は、シンガポール美術館が3つのパートナーの協力により開催する展覧会です。同じく分館の1、2階にて、シンガポール国際写真祭との連携による“After Image: Contemporary Photography in Southeast Asia”（アフターイメージ：南東アジアの現代写真）、3階にて、ドイツ銀行所蔵作品による“Time Present: Photography from the Deutsche Bank Collection”（タイム・プレゼント：ドイツ銀行所蔵現代写真）の2展が同時開催されます。

映像表現の多様化－横浜からシンガポールへ

“Image and Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art” 展では、様々な表現媒体が存在する今日、1990年代以降に新しい表現媒体として台頭した映像に焦点を絞り、当館コレクションより5作家8作品が紹介されます。展示形態も制作方法も異なる作品群は、映像の可能性を示し、人々を魅了することでしょう。

5作家のうち、高嶺格（1968年生、秋田在住）と石田尚志（1972年生、東京在住）は、横浜美術館に縁の深い作家です。既に海外でも高い評価を得る高嶺格は、2011年に当館にて個展を開催。石田尚志は当館にて2007年に滞在制作を行いました。両者の作品は当館にて作品発表した後に、コレクションとして収蔵されました。

八木良太（1980年生、京都在住）、ツァイ・チャウエイ（1980年生、パリ・ニューヨーク・台北在住）、ピーター・コフィン（1972年生、ニューヨーク在住）の3作家の作品は、ヨコハマトリエンナーレ2011に出品され好評を博した作品です。翌2012年に横浜美術館のコレクションとして収蔵いたしました。横浜美術館での個展を契機に、活躍の場を広げた日本作家の作品とともに横浜トリエンナーレに参加した作家の作品を、日本国内のみならず国際都市シンガポールで紹介できることは、日本からの発信という視点においても、横浜美術館のコレクションの幅広い活用という視点においても、大変有意義であると思います。

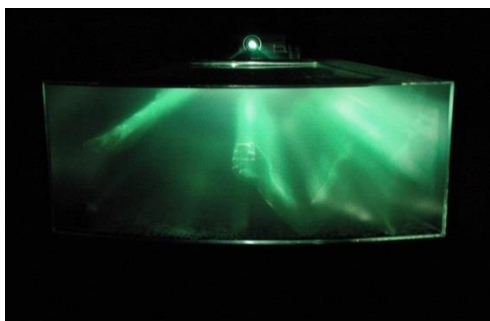


シンガポール美術館
(Singapore Art Museum)

1996年1月に国立美術館として開館。シンガポールを始め、東南アジアの現代アートを中心に収蔵する、世界でも有数の美術館。2011年と2013年にはシンガポールビエンナーレを開催。

■ 出品作品

高嶺格 (1968 年生、日本)



《水位と体内音》2004 年、横浜美術館蔵

石田尚志 (1972 年生、日本)



《海の壁—生成する庭》2007 年、横浜美術館蔵

八木良太 (1980 年生、日本)



《ポルタメント No.2 (ホームイ)》2006/2011 年、横浜美術館蔵

《ポルタメント No.2 (ヴァイオリン)》2006/2011 年、横浜美術館蔵

《ポルタメント No.2 (シンセサイザー)》2006/2011 年、横浜美術館蔵

ツァイ・チャウエイ (1980 年、台湾)



《円 I》2009 年、横浜美術館蔵

《洗礼》2009 年、横浜美術館蔵

ピーター・コフィン (1972 年生、アメリカ)



《無題》2011 年、横浜美術館蔵

“Image and Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art”

「イメージとイリュージョン：横浜美術館所蔵 ビデオ・インスタレーション作品」展

会期：2014年10月3日（金）～ 2015年2月8日（日）

会場：シンガポール美術館分館（SAM at 8Q）
（8 Queen Street, Singapore）

共催：シンガポール美術館（Singapore Art Museum）、横浜美術館

URL：<http://www.singaporeartmuseum.sg/>

【本件に関するお問い合わせ】

横浜美術館 広報・渉外チーム 広報担当（宮野、藤井、窪田）

Tel: 045-221-0319 Fax: 045-221-0317 e-mail: pr-yma@yaf.or.jp